



木造住宅耐震改修とは



木造住宅の耐震診断を行うと、「耐震診断結果報告書」に住宅の地震に対する強さが「判定値(評点)」で表されます。「判定値(評点)」が1.0未満の場合は、「倒壊する可能性がある」や「倒壊する可能性が高い」と診断されますので、地震に備え、「判定値(評点)」を1.0以上にあげる改修工事を言います。

下の表から、あなたの家の評点と近い を探し、震度と被害の関係を見ましょう。例えば評点が0.4で **想定震度** が震度6弱であれば、倒壊の被害を受けることが分かります。次に、右下の表で被害の様子を確認できます。また、どれくらいの評点にすれば、被害を抑えられるのかも分かります。

【耐震改修チャート】

震度 被害	5弱	5強	6弱	6強	7
無被害	1.0 1.3	1.3			
小破	0.4 0.7	1.0	1.3		
中破		0.7	1.0	1.3	
大破		0.4	0.7 1.0	1.3	
倒壊			0.4	0.4	1.0 0.4 0.7

出典：
井戸田秀樹、横岡慎徳、梅村恒、森保宏：在来軸組木造住宅における一般耐震診断の評点と損傷度の関係
耐震改修促進のための意思決定支援ツールに関する研究（その1）、
日本建築学会構造系論文 第612号、pp.125132、2007年2月



	被害の様子	修復の可能性と被害状況
無被害		ほぼ無被害 ● 仕上げのモルタル、漆喰などに軽微なひび割れが発生する場合がある。 ● 壁紙にしわが寄ることがある 変形 1cm以下
小破		継続使用可・軽微な補修要 ● 部分的なタイルの剥離 ● 窓周辺のモルタルなどにひび割れ ● 壁紙の部分的破損 ● 瓦のずれ、部分的落下 変形 1~5cm
中破		多くの場合避難生活 かなりの修復費用が発生 ● 外壁の剥離、脱落 ● 窓、扉の開閉不具合 ● 内装仕上げの剥離 変形 5~10cm
大破		避難生活・修復困難 ● 内外装の激しい剥落 ● 大きな柱の傾き ● 窓、扉の損壊 ● 余震による倒壊の可能性 変形 10cm以上
倒壊		命を落とす危険性大 ● 室内空間がなくなる ● 近隣への影響大 ● 火災発生の可能性大 MOVIE

※ 変形 挿れているときに家全体が横方向に変形した大きさを意味します。

昭和56年5月31日以前に着工された
建物にお住まいの方で市町村が実施して
いる無料の耐震診断を受けてない方は
是非診断を受けて下さい！

出典
名古屋工業大学建築・デザイン工学科/井戸田研究室・寺田研究室
名古屋大学建築学コース森研究室/横えびす建築研究所
「木造住宅の耐震リフォーム」より